

東日本大震災13年

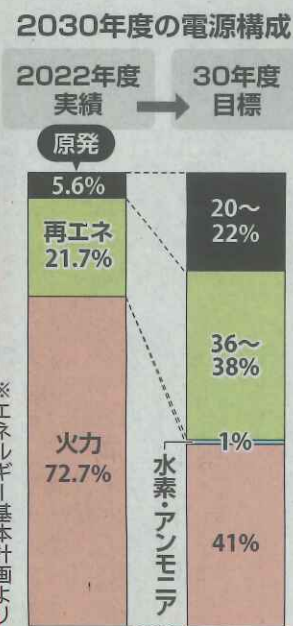
政権貫く原発回帰

再稼働年内14基に 60年超運転認可

東京電力福島第1原発事故発生から13年となった今年、原発再稼働がさらに進む。中国電力と東北電力が新規規制基準に適合した原発を初めて再稼働させる予定で、現在運転可能な15原発33基のうち、年内に再稼働済みとなるのは8原発14基になる見通しだ。岸田文雄政権は60年超の原子炉の運転を認めるなど、原発回帰を鮮明にする。ただ、1月の能登半島地震では安全性に不安が高まるなど、制御が難しい原子力に依存する懸念は根強い。

能登地震で懸念再び

「原子力は、安全性の確い」。斎藤健経済産業相は保を大前提に活用を進めた。5日の会見で、電力安定供給



2030年度の電源構成 2022年度実績 30年度目標

「誰でも作れる服ではなく、人を魅了し、楽しませる服を作ることを大切にしたい」。2023年から衣装デザイナーとして東京を拠点に活動、若手の実力派として注目されている。 苦小牧市出身。苦小牧西高時

SUOさん 雄一さんに依頼されたライブの衣装。コンテスト受賞を機に出演したテレビ番組で知り合った。光が当たる角度で青や黄など虹色に見える素材を使ってデザインした。「不安もあったが、ファンに好評で自信になった」と柔らかな口調で語る。 1人でデザイン、縫製など制作の全てを担う。赤色が好きで熱帯魚やチヨウなど、生物を毛

方針転換

2011年3月の福島事故発生時、17原発54基あった商業用原子炉は福島第1を含め計21基が廃炉となった。自民党政権は新規規制基準に適合した原発の再稼働を進めてきたが、国民の不安は根強く、積極的な活用策は封印してきた。

方針を大きく転換したのは22年、岸田首相はウクライナ情勢による電力不安を理由に原発の運転期間延長と建て替えを進めると表明した。福島事故後に導入した「原則40年、最長60年」の運転期間制限も緩和し、60年超の運転を認めた。建て替えや新増設に向け、次世代型原発の開発も推進し、24年度予算案は核燃料サイクル政策の主要技術である高速炉実証炉などの開発に前年度比で4・5倍の計563億円を計上した。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。 今年、エネルギー政策の中長期指針、エネルギー基本計画(エネ基)見直しの年で、政府が原発推進を明確に打ち出すかも焦点だ。21年策定の現計画では、原発に関して「可能な限り依存度を低減する」との表現を踏襲し、新増設は明記しなかった。これに対して、電力業界は「リプレイス(建て替え)と新設の必要性を明記すべきだ」(池辺和弘・電気事業連合会会長)と主張。高レベル放射性廃棄物(核のごみ)処分めども立たない中、原発推進の姿勢を強めている。

現在のエネ基は、30年度の全発電量のうち原発を20

給などの観点から原発が重要なとの認識を改めて示した。今年是中国電根原発(松江市)2号機が8月に、東北電女川原発(宮城県)2号機が9月に再稼働する予定だ。全国で唯一、県庁所在地にある原発の島根2号機は事故が起きた福島第1と同型の沸騰水型では初の再稼働となる。女川2号機も同型で、福島事故後、東日本では初の再稼働となる。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。

「あれだけの事故を起こしたのに、喉元過ぎれば熱さを忘れるということか」。福島県伊達市から札幌市に自主避難した穴戸隆子さん(51)は加速する原発回帰に憤りを表す。



政府は原発の再稼働を推進しています。

再稼働するには 地元の同意が不可欠

で、石炭や液化天然ガス(LNG)など火力発電の燃料費を抑えられ、経営改善や電気料金値下げにつながります。 Q 審査合格後は? A 電力会社は、原発が立地する道県や市町村と、原発の施設変更に関する事前了解など安全協定を結んでいます。法的拘束力はありませんが、地元の意向を無視するのは難しく、同意を得ることが再稼働に不可欠となっています。 Q 立地以外の自治体は? A 第1原発事故では広範囲に放射性物質が拡散し、住民が避難を強いられました。現在は、原発から30キロ圏の自治体が、事故に備えて住民の避難先や避難ルートを決めた計画を策定し、首相をトップとする政府の原子力防災会議で了承する仕組みになりました。避難計画策定も再稼働に必要な要件です。

避難困難

そうした中、能登半島地震(石川県)で外部電源の一部喪失など、想定外のトラブルが多発。周辺では家屋倒壊や道路寸断が続出し、原発事故避難の困難さも改めて浮き彫りになった。国際大の橋川武郎学長(エネルギー産業論)は「今指摘している。(山田一輝、岩内江平)